

2024 年度（令和 6 年度）事業報告書 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

I. 事業の状況

本年度は次の通り事業を実施した

II-1. 特別企画展の開催（入館者数 55,527 人：有料+無料）

入館者		本年度	前年度	増減	備考
一般*	個人	51,830	37,942	13,888	友の会員等含む
	団体	295	198	97	
学生 (大高中小)	個人	3139	2,599	540	
	団体	263	300	▲37	
計		55,527	41,039	14,488	

* 上記の入館者数は、前年度跨ぎ展覧会 3 月 30 日～31 日（2 日間：入館者 416 人含む）

2. 特別企画展の内容

年間を通して下記の特別展を開催した。

	特別展示名	会期	会期日数	入館者（人）	
				入館数	日当り
1	古染付と中国工芸	‘24 年 3 月 30 日～6 月 2 日	56 日	9,028	161
2	朝鮮民族美術館設立 100 年記念 柳宗悦と朝鮮民族美術館	‘24 年 6 月 15 日～8 月 25 日	61 日	9,958	163
3	芹沢銈介の世界	‘24 年 9 月 5 日～11 月 20 日	66 日	20,602	312
4	2024 年度日本民藝館展 -新作工 藝公募展-	‘24 年 12 月 7 日～12 月 22 日	14 日	4,826	345
5	仏教美学 柳宗悦が見届けたもの	‘25 年 1 月 12 日～3 月 20 日	59 日	11,113	188
開催日数・総入館者数（2023 年度の年度跨ぎ展覧会は省く）			256 日	55,527	217

III. 民藝の普及・振興に関する事業

1. 特別展にあわせて講座を開催。

	記念講演会名等	講 師	実施期日	参加人数	運営・会場
1	古染付って何？ 茶の湯の器か、それとも民 藝の器か	梶山博文（中之島香雪美術 館学芸課長）	‘24 年 5 月 11 日	45 名	本館
2	朝鮮民族美術館について の新知見ー2018 年からの 資料調査をもと	片山まび（東京藝術大学美術 学部教授）	‘24 年 7 月 20 日	70 名	本館
3	林家たい平、芹沢銈介を語 る	林家たい平（落語家）	‘24 年 9 月 20 日	89 名	本館
4	芹沢銈介と世界観	白鳥誠一郎（静岡市立芹沢 銈介美術館学芸員）	‘24 年 10 月 26 日	76 名	本館
5	柳宗悦が仏教美学に託し たもの	松井健（東京大学名誉教授）	‘25 年 3 月 1 日	76 名	本館

2. 小・中・高等学校等との連携事業による美術館教育などの教育普及活動

教育普及活動として、各学校と連携して鑑賞教室など美術館教育の企画・運営を行った。今年度は、小学校 2 校（桐朋学園小学校 71 名、ユナイテッドスクール オブ 東京 25 名）、中学校 2 校（吉祥女子中学・高等学校 27 名、お茶の水女子大学附属中学校 15 名）、高等学校 1 校（橘学苑高等学校 28 名）を受け入れた。

3. 博物館実習の受入れによる現場教育の機会の提供

博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し、現場における知識・技能の習得を支援し、将来の美術館活動を担う人材の育成に協力した。当館では、以下の教育実習プログラムに基づき、各大学より応募があった学生を対象にして、3日間の講義と7日間の実務実習をおこなった。

事業名	実習日数	学校数	人数	教育カリキュラム
博物館実習生の受入	延べ10日間（2024年5月30日～12月24日） 講義3日間、実習7日間	大学 17校	17名	1.講義（民藝館の活動、民藝美論、蔵品の管理、展示に関する基礎知識） 2.実務実習（展示替え作業）

4. 国際文化交流事業（国内含む）

- ・2025年にスウェーデン国立美術館で開催される「濱田庄司とウィルヘルム・コーク展」（仮題）のための準備協力を行った。
- ・韓国の国立現代美術館で開催される「韓国近現代刺繍展」（2024.5～8月）と湖巖美術館で開催される「東アジアの女性と仏教展」（2024.3～6月）への出品協力を行った。
- ・イギリスのウィリアムモリスギャラリーで開催される「MINGEI展」（2024.3～9月）への図録協力を行った

5. 日本民藝館所蔵品の貸出

- 1) 各地美術館及び他民藝館への所蔵品の貸与及び共同企画への参画を実施した。
 - ・所蔵品の国内外の美術館・企業等への貸出や、共同企画展への参加を通して民藝の普及をおこなった。（「民藝 MINGEI」展、「柚木沙弥郎 永遠のいま」展、「アイヌ美しき手仕事」展への企画協力）

- 2) 日本民藝館の所蔵品貸出は下表の通りである（美術館等は12ヶ所、出品635点）

会場	展覧会名	貸出作品	点数	会期
世田谷美術館	民藝 MINGEI-美は暮らしのなかにある	柳宗悦の蒐集品	101	‘24.4/24-6/30
富山県美術館	〃	〃	101	‘24.7/13-9/23
名古屋市美術館	〃	〃	101	‘24.10/5-12/22
福岡市博物館	〃	〃	101	‘25.2/8-4/6
大阪中之島美術館	日本美術の鉤脈展 未来の国宝を探せ	築島物語絵巻上下巻等	2	‘24.6/21-8/31
豊田市美術館	生誕120年人間国宝黒田辰秋 -木と漆と螺鈿の旅-	黒田辰秋作品	3	‘24.3/15-5/18
京都国立近代美術館	〃	〃	3	‘24.12/17-‘25.3/2
岩手県立美術館	柚木沙弥郎 永遠のいま	柚木沙弥郎作品	37	‘23.8/23-9/3
岡山県立美術館	〃	〃	37	‘23.9/6-9/25
豊田市民芸館	特別展「アイヌ美しき手仕事」	アイヌ衣裳等	142	‘24.10/21-12/15
沖縄県立博物館・美術館	芭蕉布展	芭蕉赤地両面花織着物等	5	‘24.10/1-12/1
群馬県立歴史博物館	第111回「弥生人は二度死ぬ」	逗子甕	2	‘24.9/20-12/25

6、出版などのメディアによる民藝の普及活動への協力

- ・民藝運動の機関誌である雑誌『民藝』（発行：日本民藝協会）への編集協力。
- ・NHK「日曜美術館」『Oh!SAMMY DAY 柚木沙弥郎 101 年の旅』（初回放送日：‘24. 11/17）への取材及び撮影協力。
- ・NHK スペシャル「新ジャポニズム 第4集 DESIGN 世界を魅惑する“和”の魔法」（初回放送日：‘25. 3/30）への取材及び撮影協力。
- ・NHK ラジオ「柳宗悦 美は人間を救うのか」（初回放送日：‘24. 4/14～最終放送日：‘25. 3/9）への取材及び収録協力（2 回＋番外編は当館にて収録）。
- ・平凡社「別冊太陽」『柳宗悦－民藝 美しさをもとめて』（第2刷発行：‘25. 3/3）への協力。

7、各地美術館や学校及び関係団体への講師・講演協力

- ・日本民藝協会の催事及び各地民藝館並びに美術館や大学、文化団体等への講師派遣を通し、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし普及・推進をおこなった。
（鳥取大学公開授業講座『『民藝』という美学－地域にひそむ新たな価値の発見』[‘24. 9/12-9/15]、日比谷図書文化館「日比谷カレッジ『朝鮮民族美術館をめぐる』[‘24. 7/5]、『柳宗悦と仏教美学』[‘25. 1/24]」）

8、調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした情報を整理し、展覧会等に公開した。
（「朝鮮民族美術館設立 100 年記念 柳宗悦と朝鮮民族美術館」展では、記念図録『柳宗悦と朝鮮民族美術館』を刊行、「仏教美学 柳宗悦の見届けたもの」展では、柳宗悦の講演会録音を基に画像化し公開した）
- ・Web サイトや SNS にて展覧会に関わる情報を随時提供した。

9、資料・文献などの保存管理と活用に関する事業

- ・文献や画像資料や図書類のデータベースのデータ更新を継続する。
- ・展覧会図録の作成・出版を行う

IV. 民藝の工人育成・協力推進事業

1) 日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

① 新作工芸品の公募

日本民藝館で年に一度開かれるもので、伝統的な技術を継承して作られている手仕事の品と、民藝の美を指針とする個人作家の品を全国から公募し、工人（作り手）の育成支援と暮らしに役立つ工芸品の発展や普及を目的に実施した。

② 入選作の展示公開と販売

選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品（準入選作品を含む）の即売を通して作り手を支援し、世の中に優れた新作工芸品を普及に努めた。

③ 出品者を対象にした表彰式・審査講評会の実施

審査委員を交えた講評会を実施して、工人に対して仕事の質や方向性を確認する場を提供し、併せて工人同士の情報交換や親睦を深めることを通じて、工人の育成支援を図った。

2) 日本民藝館展の実施概況

会期 2024 年 12 月 14 日～12 月 22 日（13 日間）
表彰式・講評会 2024 年 12 月 3 日（受賞者：館賞 1 協会賞 1、奨励賞 5）
入館者数 4,826 人（入館指定日時予約制）
出品状況（応募・審査状況）

出品分野	出品者数	制作者数	出品点数	審査結果		
				入選	準入選	落選
分野（陶磁器、染織、織物、木漆工、ガラス、編組等）	361 名	389 名	1,608 点	711 点	430 点	469 点

V. 広報 他

- ・各特別展のポスター及び年間特別展開催パンフレットを製作し、美術館・教育機関・工芸館ギャラリーなどへ配布。並びに京王線主要駅での駅貼り大型ポスターの掲出。
- ・各特別展のチラシ（案内状）を製作し、報道機関・民藝関係者・友の会会員へ配布。
- ・マスメディアを通して展覧会や当館の活動に関する情報を紹介。NHK「日曜美術館」アートシーン展覧会情報で、「柳宗悦と朝鮮民族美術館」展と「芹沢銈介の世界」展を紹介。
- ・館 Web サイト（ホームページ）や SNS（フェースブック、インスタグラム）を通しての情報の発信。インスタグラムの現在のフォロワー数は 7.8 万人。

VI. 所蔵品等の修復整備

- ・柳宗悦意匠の松本民藝家具製の椅子類 14 脚、柳宗悦の書（裏打ち、洗い）1 点、中国蓋壺 2 点、

VII. 所蔵品の蒐集（10 点）と寄贈品（153 点）

蒐集作品片野元彦作品（藍絞り）10 点購入

寄贈品：柚木沙弥郎作品（染色）149 点、祝嶺恭子作品（織物）1 点、柳悦孝作品（着物）1 点
貝珠衣（台湾タイヤル族）1 点、浜田庄司作品（白掛灰釉香炉、青釉十字掛角皿）2 点、

VIII. 日本民藝館の営繕管理、設備等

- ・本館外壁面の海鼠が劣化により約 1 m²剥離し落下したため補修を行った。
- ・新館屋上排水口付近から屋内へ雨水浸透し、2 階床板の被害が発生、原因の排水口周りの防水加工処理と被害床板一部交換を行った。

IX. 役員等に関する事項

2024 年 6 月 26 日 2024 年度第 1 回定時評議員会

- 議事事項 ・2023 年度事業報告書及び計算書類等の承認について
・理事の任期満了に伴う理事の選任について 等

2024 年 6 月 8 日 2024 年度第 1 回定時理事会

- 議事事項 ・2023 年度事業報告及び計算書類等の承認について
・理事の任期満了に伴う理事の選出について 等

2024 年 6 月 26 日 2024 年度第 2 回理事会

- 議事事項 ・理事長、常務理事の選定について 等

2025 年 2 月 28 日 2024 年度第 3 回定時理事会

- 議事事項 ・2025 年度事業計画及び収支予算の承認
・2025 年度定時評議員会の招集について 等

X. 収益事業

- 1) 日本民藝館展（新作工藝公募展）における入選作品の委託即売を展示会場内で行った。
- 2) 駐車場の月極車両契約は、京王不動産の委託管理により円滑に運営できた。

・2024 年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成していない。

2025 年 5 月
公益財団法人 日本民芸館